

2020年3月25日

奈良・町家の芸術祭 はならあと 2021～2023 参加表明のお願い

はならあと開催を検討される個人・団体各位

奈良・町家の芸術祭
HANARART 実行委員会

はならあとの資金確保のために

これまで、はならあとの予算は県からの負担金が必要な割合を占めていました。

しかし、その負担金の金額は、ピーク時の 1/3 以下にまで減少しています。このままでは、展覧会の質や開催エリアのサポートが担保できなくなります。

そこで、当実行委員会が民間の助成金・協賛金、市町村負担金（以下、「外部資金」。）を確実に獲得し、充実した準備期間を設けるために、これまでの単年度の計画ではなく中期的（3～5年）な視点で準備を進めていく必要があります。

はならあとの概要（別添）

なぜ、事前の参加表明が必要なのか

外部資金を申請・要請するにあたっては、企画（開催地域・展覧会コンセプト・会場・作家）を事前に一定程度固めておかななくてはなりません。

助成金の募集は前年の 10～11 月にかけて最も多く、協賛金についても 1 年前の声掛けがあれば支援可能と回答する企業も多くあります。行政の負担金についても、前年秋頃に作成する予算要望へ盛り込んでもらう必要があります。

そこで、はならあと開催を検討される団体の皆様には、以下の書面にて、今後 3 年間における「はならあと こあ」「はならあと さてらいと」の参加希望の意思表示をお願いするものです。

■書類提出先

提出は電子メールでのみ受け付けます。

奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会 事務局（担当：飯村）

E-Mail : info@hanarart.jp

※提出期限は、2020年5月31日（日）17:00 必着です。

※年度ごとに正式な開催エリア公募と選考を行います。当参加表明書を提出されている場合は、選考において一定の配慮をいたします。

※毎年こあ 1 エリア、さてらいと 5 エリアを選定予定ですが、あくまで予定決定のため、予算状況によって開催エリア数などを変更する可能性があります。

奈良・町家の芸術祭 はならあと 2021-2023 参加表明書

2020年 月 日申請

奈良・町家の芸術祭
HANARART 実行委員会
実行委員長 川端 規央 殿

奈良・町家の芸術祭はならあとへ、下記の通り参加を表明いたします。

・開催を希望する年度と部門

2021年度 こあ / さてらいと

2022年度 こあ / さてらいと

2023年度 こあ / さてらいと

・開催エリア名称

・申請者に関する情報

住 所

団 体 名

代表者名 (印)

電話番号

担当者連絡先

住所

氏名

電話番号

メールアドレス

<記載例>

奈良・町家の芸術祭 はならあと 2021-2023 参加表明書

2020年〇月〇日申請

奈良・町家の芸術祭
HANARART 実行委員会
実行委員長 川端 規央 殿

奈良・町家の芸術祭はならあとへ、下記の通り参加を表明いたします。

- ・開催を希望する年度と部門 (希望される年度の開催種別のところに〇をつけてください)

2021年度	こあ	/	さてらいと	/	開催しない
2022年度	こあ	/	さてらいと	/	開催しない
2023年度	こあ	/	さてらいと	/	開催しない

- ・開催エリア名称 〇〇市〇〇町エリア (例: 宇陀松山エリア、橿原・〇〇エリア)

- ・申請者に関する情報

住 所 奈良県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地

団 体 名 町家の芸術祭実行委員会

代表者名 現代 芸術 (印) 注) 個人は個人印、団体は個人印と団体印 (あれば)

電話番号 〇〇〇〇—〇〇—〇〇〇〇

担当者連絡先

住 所 奈良県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地

氏 名 花野 町家

電話番号 〇〇〇〇—〇〇—〇〇〇〇 (日中、連絡が付きやすい番号)

メールアドレス 〇〇〇〇@〇〇〇〇. 〇〇

奈良・町家の芸術祭 はならあと 概要

「奈良・町家の芸術祭 はならあと」(以下、「はならあと」。)は、2011年に始まった芸術祭で、空き町家で現代アートを展示するのが特徴です。総来場者数は9年間で37万人、述べ400組以上のアーティストにご参加いただいています。

「はならあと」における“町家”の定義
地域独自の文化や人々の暮らしが記憶された建築物を指します。

「はならあと」の役割

お掃除プロジェクトや空き家見学ツアー開催による町家利活用機運の向上、地元まちづくり団体主体の運営体制による地域力向上、現代芸術を通じた新しい価値の提案による住民の町に対する誇り・愛着醸成の機会創出、住民とアーティストの交流促進による芸術普及、海外への新たな地域価値の発信を目標としています。

「はならあと」の運営

主催は、奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会と奈良県。

実行委員会は、「はならあと」を開催するために、16地域のまちづくり団体が集まり組織しています。

参加地域：ならまち、奈良きたまち、今井町、八木札の辻、大和郡山、田原本、三輪、桜井、
宇陀松山、御所、五條新町、吉野町国栖、吉野町上市、吉野町殿川、曾爾村、柳生 計16地域

アーティストと地域

これまで、地域住民とアーティストが一緒になって芸術祭を作りあげ、海外へも新たな地域価値の発信を行ってきました。美術大学を卒業したばかりの若いアーティストから、国際的に活躍しているアーティストまで、様々な人が「はならあと」を通して奈良県内の様々な地域を舞台に作品を発表して下さっています。

空き町家での展示、その効果

「はならあと」では、会場を作り上げるためにボランティアチーム、地元住民、アーティスト、スタッフ、みんなが一丸となって会期前に空き町家の掃除をします。オーナーが「価値がない」「壊すしかない」と思っていた空き町家に風が通り、建物が息を吹き返します。

作品が展示されたその建物に多くの来場者が訪れた後、その場所を気に入った人の中には、住居したり、カフェを開業する人が現れるなど、様々な形で復活し利活用されてきました。その数、これまでに**40件**。はならあとが生み出してきた、イベント終了後の効果です。

フリーペーパー「まちと人のあいだ、交わりのドキュメント HA:Re (ハレ)」

「はならあと」の活動記録をまとめた、「ハレ」、ぜひご覧ください。

はならあと公式 HP <https://hanarart.jp/> のトップページ下段のリンクからご覧いただけます。